

切り替えて整備します。

その他、環境関係で、県補助事業としてふれあいプラザ太陽光発電設備、電気自動車充電インフラ設備の設置、防災関係で、デジタル防災行政無線子局の設置工事、公共建物耐震診断事業など、省エネ、新エネルギー、防災対策を推進いたします。

# 活気あふれる元気な

## 町をめざして



神崎町議会議長  
石井正夫

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には希望に満ちた清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年中は、議会活動につきましまして、皆様のご理解と

福祉関係では、県内で初めて保育園児が全額、小中学生が半額の給食費助成や、

昨年から始めた18歳未満の第3子以降の保育料無料化を継続して実施し、子育てしやすい環境整備に努めてまいります。

町民の皆様が、安全で、安心できる暮らしを守りな

がら、明るい未来を感じるようなまちづくりを、職員

一丸となって、今後も進めてまいります。皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

本年も、よろしくお願ひ申し上げます。

雨により甚大な被害を受け、町でも、10月の台風26号により多大な被害が発生しました。

ご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。2013年は、中国の尖閣諸島上空を含む防空識別圏設定、TPP交渉やASEAN諸国との協調など、わが国を取り巻く領土・防衛・外交のさまざまな変化がありました。

また、世界各地で大地震が発生し、異常気象のもとで豪雨や超大型台風により未曾有の被害がありました。国内でも、7月、8月の山陰・北東北・北海道での豪

このように、めまぐるしく変化する状況のなか、本

町では健全財政を堅持し、効率的な行政運営を進めています。東日本大震災の復興事業は完了し、神宿浄水場移転工事も順調に推移しています。

念願でありました首都圏中央連絡自動車道(圏央道)

は、本年度末には神崎インターまで開通します。来年度末には東関東自動車道大栄ジャンクションまで延伸する予定です。成田神崎線整備事業も着実に進展し、本町発展の礎となる基幹道路整備が進行しています。

また、活性化の拠点となる「神崎道の駅」事業も用地の埋立盛土工事が進み、圏央道インター整備とともに地域の様子が一変しました。今後も施設の内容、運営を十分研究・検討し、よりたくさんの方に利用され「発酵の里こうざき」の情報発信をし、活性化に取り組んでまいります。

少子高齢化対策も重要です。本町の年間出生数は40



「発酵の里こうざき」のPRを担う「なんじゃもん」

人弱、高齢化率は約29%です。このため昨年度から保育所児童の給食費相当の助成、小中学校給食費の半額助成を行い、中学生までの医療費無料化と現物給付化を実施しています。今後も、おもてなしの心で子育てにやさしい町づくりを推進してまいります。

結びに、町議会としましては、議会の果たすべき役割と責任を自覚し、町民の皆様のご期待に添うよう決意を新たにいたしておるところであります。

町民の皆様のご多幸をお祈りするとともに、本年も相変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。